

～間宮林蔵 樺太探検の出発地～

「北海道稚内市」と 交流しました！



間宮林蔵について：教育委員会庁舎生涯学習課
文化振興室（内線 7301）
交流授業について：教育委員会庁舎教育指導課
（内線 7151）
給食について：学校給食センター（内線 7211）

間宮林蔵とは

1780年（安永9年）に筑波郡上平柳（現在のつくばみらい市）で生まれ、蝦夷（北海道）を探検し、現在の北海道の地図の基礎となる「蝦夷全図」を完成させました。樺太の探検では「間宮海峡」を発見し、その名前は現在でも世界地図に明記されています。また、樺太探検の出発地である北海道稚内市には、彼の偉業をたたえる立像が設置されています。



間宮林蔵立像（稚内市内）

小学校間でオンライン交流授業を実施

2月22日、伊奈小学校と稚内市立大岬小学校の4年生で、オンラインでの交流授業を実施しました。間宮林蔵や互いの地域への理解を深めることを目的としたこの授業では、間宮林蔵の功績や気候の違いなどを、クイズ形式で出題しました。子どもたちからは「正確な地図を作るために、ずっと同じ歩幅で歩き続けるなんて凄い」「同じ2月なのに、お互いの市で雪の量が全然違うのでびっくりした」といった感想が聞かれ、充実した授業となりました。



【北海道稚内市応援献立】

ホタテのクリームシチュー、ロールパン、野菜コロケ、コールスローサラダ、牛乳

稚内市産ホタテを使った給食を提供

2月22日・29日、市内幼稚園と小中学校の給食に、稚内市産ホタテを使用した「北海道稚内市応援献立」を提供しました。取材に伺った伊奈小学校では、子どもたちは配膳の時から待ちきれない様子でした。ホタテのクリームシチューには、大きなホタテがお椀にたくさん！初めてホタテを食べる子どもたちも「不思議な食感だったけど、とても美味しかった」「この給食でホタテが好きになった」と話していて、笑顔があふれる給食となりました。



ホタテ購入の経緯と目的

中国による日本産水産物の輸入停止で過剰在庫を抱える水産業者への支援を目的に、間宮林蔵が縁で以前から親交を深めてきた北海道稚内市の「ホタテ」を計430kg購入し、給食で提供しました。

※ホタテの購入には、公益財団法人 水産物安定供給推進機構の「ALPS 処理水関連緊急国内販路拡大等支援事業補助金」を活用しました。

間宮林蔵については、広報つくばみらいの「林蔵クイズ」コーナー（今月号は32ページ）で毎月紹介しています。ぜひ、ご覧ください！

